

一般社団法人日本セーフティパドリング協会

# 2022 年度事業計画

一般社団法人 日本セーフティカヌーイング協会 理事会

2022年1月26日

## 2022 年度ビジョン

「パドルスポーツの業界スタンダードは JSPA」

2020 年 21 年と長引くコロナ禍により制約される事業はありましたが、協会内部では次の時代へと行動を止めませんでした。35 年近くに達しようとしている協会名を 2022 年 3 月を以って名称変更致します。

カヤックフィッシング、SUP やパックラフトの急速な普及と、「安全なパドルスポーツの普及」という JSCA の目的を達成する為には、これまで以上に一般の方々への認知度を高める必要があります。

変わらぬ技術力と安全意識、変化するパドルスポーツへのあくなき追及を考え、新しい協会名、「一般社団法人日本セーフティパドリング協会 (JSPA ジェイ・エス・ピー・エー)」として新しく生まれ変わります。

今後も何卒変わらぬご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

### 1、会員増強

業界のスタンダード作りを目標に様々な活動を強化していきます。質を保った検定会の継続的な開催、現場で役に立つ会員研修会の実施、会員サービスの充実などに引き続き取り組んで参ります。

### 2、各地でのパドルスポーツセーフティミーティングの実施

コロナの状況を鑑みながら、地域毎に一般向けの安全普及に関するイベント、「パドルスポーツセーフティミーティング」を開催いたします。

### 3、パドルスポーツの社会的認知度の向上

行政や企業や社会的責任のある方は HP を見えています。ドキドキした感覚に安心感と安全を与えてくれる私たちにどんな目を向けているか。どのような資格を持って職業として活動しているか。その対価に責任を持たなければならないと思います。

### 4、公益性を高め、公の団体を目指す

一般向けの普及イベントを継続的に開催する事、安全啓発事業を行う事、透明性の高い協会運営を継続する事で、協会の公益性を高め長期的に「公益社団法人」の認可を得ることが出来る組織を目指します。

### 5、外部発信力の強化

関連諸団体との交流を深め、中央官庁等へのロビー活動を行う素地を作り、将来的に会員の利益を生み出す環境づくりを推進します。海のフィールドでは海上保安庁「海の安全推進アドバイザー」として他団体との交流が出来つつあるのですが、川や湖などの内水面に関しても少しずつではありますが足掛かりを築き始めております。

### 6、JSPA プログラムの見直し

昨年度に資格制度の見直しを行いました。業界の実情に合わせて継続的にプログラムの改善を行います。

### 7、協会運営の強化

専門委員会の活動を拡充し、協会の運営を広く会員に委ね、委員会主体の協会運営を目指します。私たちの協会は現在まで外部からの補助金なしで、言い換えれば干渉や支配が無く、自主的な運営が続けてきています。この自主的な運営とは、会員や委員会からの積極的な意志を尊重し、会の主体性を守ることと、会員の自発的参加を基本にするということです。海、川、内水面での活動を種目の垣根を超え、会員同士が同じ目的の実現を目指し力を合わせていきます。協会内では会員相互の研鑽を通じての深い信頼関係をベースに、自主的、連帯的

協会を作っていきます。

代表理事 山口浩也

## 理事会・委員会事業

### 理事会

2022年度は、コロナ禍で停滞していた官公庁等への渉外業務を推進したい。また、事務局移転に伴う一連の業務が円滑に行えるよう留意していきたい。アドベンチャーツーリズム（観光庁）や、海上保安庁のマリンレジャー指導員制度など、行政がパドルスポーツに行政が関わるものが急激に増加しており、そういった行政の動きが会員の利益向上に繋がるように意見発信を強化したいと考えております。

○定期理事会 6月、1月

○三役会議 5月、12月

○渉外業務

海上保安庁、UMI協議会、国交省舟艇室（継続）

旅行会社本社、観光庁、スポーツ庁、消費者庁 他関連官庁、団体

○名称変更

○商標登録

○事務局移転（3月開始。今年1年で事務局業務の刷新を図ります。）

### 教育普及委員会

#### ■2022年度活動予定

- ・新制度での検定員の育成のプログラムの構築
- ・検定会の開催と運営
- ・検定会テキストの修正（JSCA→JSPAほか）
- ・検定会課目の変更に伴うMP検定の内容の確認
- ・ベーシック検定員検定員資格取得/更新研修会（特例に基づき1箇所開催）
- ・協会主導のSUPベーシック検定会の開催（3箇所）
- ・IT選考会（3月開催）
- ・ベーシック検定の知識課目問題の更新
- ・更新単位制度の復活か否かの検討

#### ■2022年度検定会開催予定

- ・アドバンスト課程カヤック3会場、SUP3会場、カヌー1会場（同時開催も含む）
- ・付帯資格はシーガイド（シーカヤック）、リバーガイド（リバーカヤック）※リバーガイドは2021年の状況を加味し最終判断

#### ■2022年会員研修会開催日程（開催決定済み）

- ・岡山会場 主管：アクロス瀬戸内カヌースクール  
3月22・23日 「シーカヤックツアーの安全管理」

3月24・25日 「SUPでの川下りの安全管理とスキル」

#### 公認スクール委員会

・＜構成メンバー＞

委員長 末永（平戸カヤックス）

副委員長 池内(RiverWalker)

委員 中野(なかのカヤック)、楠(フラットフラット)、森山(遊び屋)、近澤(ぱいしーず)

担当理事 本橋(サニーコーストカヤックス)

＜予算案＞

・ ¥270,000

＜事業計画＞

- ・新規公認スクールの申請受付およびサポート、書類精査
- ・継続申請の精査、とりまとめ業務
- ・JSCA デイにおける実績発表進行及びアンケートとりまとめ
- ・公認スクール登録変更届の精査
- ・継続申請手続きの大幅な見直し
- ・旧C公認スクールの運行規程審査（活動領域の地図提出）

#### 安全委員会

- 1, 海保提供の事故資料への返信のための見解作成、協会内での共有
- 2, 海保以外からの事故&マナーなどに関する情報の収集と協会内での共有
- 3, 協会内の事故報告収集と共有
- 4, SUP協議会、カヤックフィッシング協議会の始動（業務内容の明文化、要員選定）
- 5, 海保のミニポートなどに関する意見交換会への参加や関連する渉外活動
- 6, 安全啓蒙リーフレットの作成（進行中）

2022年度 JSCA 安全委員会 予算請求額

¥200,000

【内訳】

通常の委員会業務に対する委員報酬 ¥50,000（前年同様）

新たな委員会業務に対する委員報酬 ¥50,000

SUP協議会、カヤックフィッシング協議会に係る報酬各 ¥50,000

海上保安庁事故情報のレポート作成

- ・雑誌寄稿
- ・セーフティパドリング2021関連業務
- ・パドルスポーツセーフティミーティング申請審査
- ・安全啓発資料原稿作成

## 広報委員会

- ・HP チェック業務
  - ・動画制作
  - ・ニュースレター
  - ・実績表他事務費
  - ・カヤック誌への広告出広
  - ・カヌーワールド誌への広告出広
  - ・漕遊への広告出広
- 
- ・JSPA への名称変更に伴う HP の一新作業（ドメイン新規取得も含めて）
  - ・JSPA への名称変更に伴う公認校パンフレットの更新作業（新規公認校の掲載を含む）
  - ・JSPA の活動内容を記載した総合パンフレットの作成
  - ・セーフティパドリングやボードショー、カヤックを販売した際に無料配布するパドリングに関する安全啓蒙の小冊子作成

## 環境委員会

委員長 紺野祐樹（アースクエスト・担当理事兼務）

委員 野元尚巳

LNTJ との包括連携協定締結調整

環境ガイドラインの改正と普及活動

資格制度への環境保全知識組み込み調整

環境保全型パドリングツアー事業者認定事業

（認定ガイドラインの作成、認定事業の開始）